

匝瑳消防署屋上防水改修工事設計図

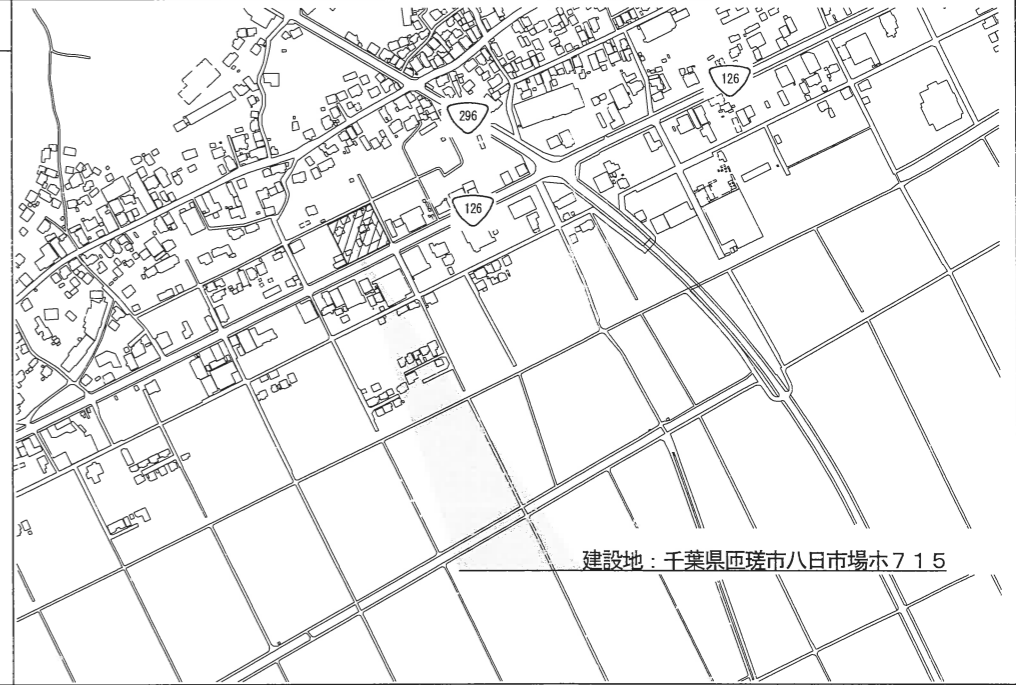
設計：木村屋建築設計事務所

図面リスト		
種別	図番	図面名
意匠図		表紙、図面リスト
	A- 1	建築特記仕様書(1)
	A- 2	建築特記仕様書(2)
	A- 3	建築特記仕様書(3)
	A- 4	配置図
	A- 5	屋上平面図
	A- 6	矩計図

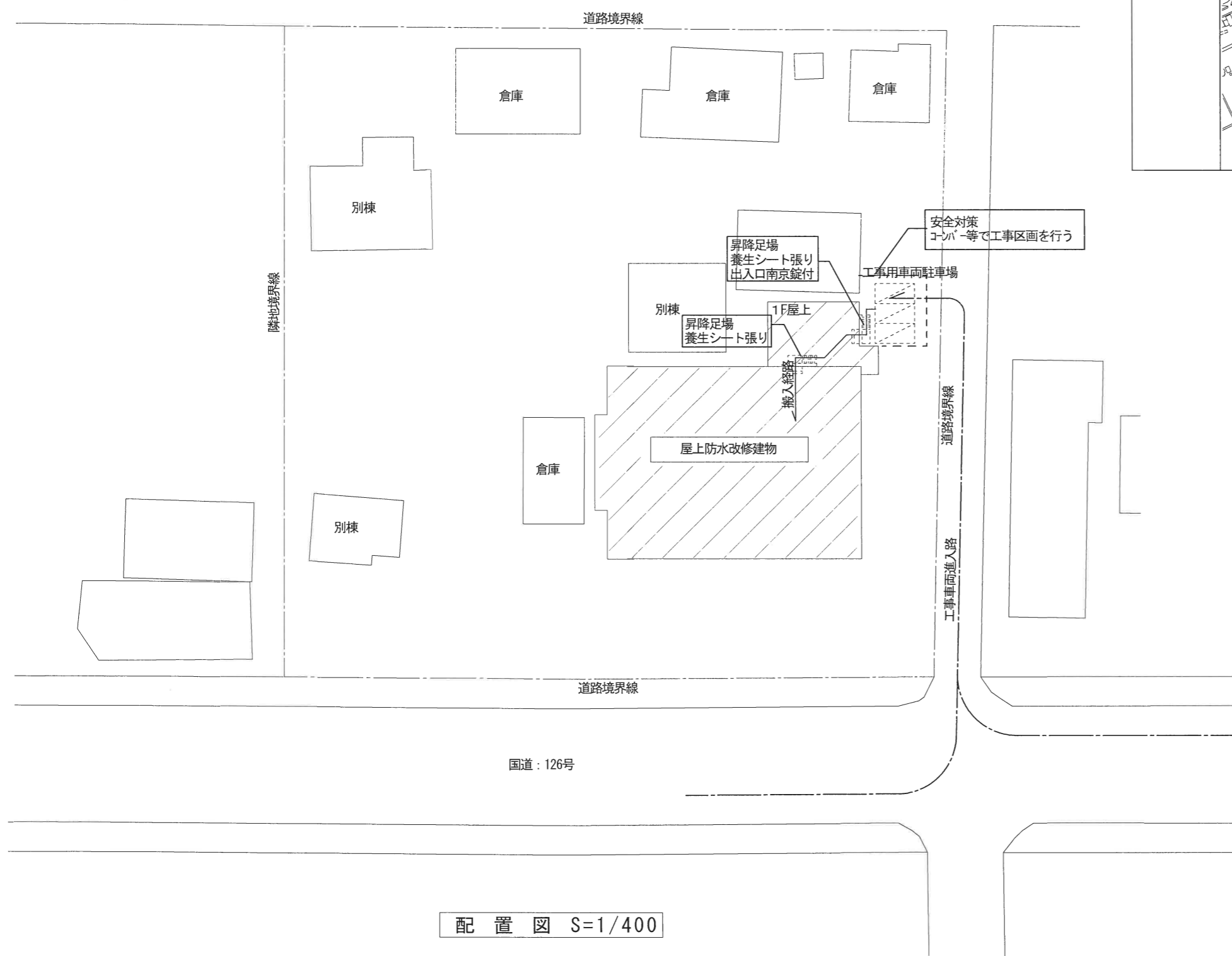
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項			
3 防水 改修 工事	⑥ 脱気装置	[改表3.3.3][改3.4.3][改表3.5.3] 種類 材質 設置数量 ・平面部脱気型 ・ポリスチレン樹脂 ・ABS樹脂 () ○ステンレス ・鍍鉄 m当たり1箇所 ・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 () ・ステンレス ・鋼 m当たり1箇所	4 外壁 改修 工事	1 既製調合モルタル	材料 保水率 単位容積質量 接着強さ (N/mm ²) 長さ変化率 曲げ強さ (N/mm ²) (%) (kg/L) 標準時 湿冷繰り返し後 (%) 0.20以下 4.0以上 7.0.0以上 1.80程度 0.60以上 0.40以上 0.20以下 4.0以上	4-1 外壁 改修 工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。コンクリートの表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	4-2 外壁 改修 工事	④ 欠損部改修工法	既存モルタル面の欠損部 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7][改4.4.8~9] 改修工法の種類 材 料 品質・規格等 ○ 充てん工法 ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 改修共仕4.2.2(g)による 塗厚25mmを超える場合の補強 ※ 行う ・ 行わない ・ 図示			
	⑦ シーリング	シーリング改修工法の種類 [改3.1.4][改表3.1.2] ・ シーリング充てん工法 ○ シーリング再充てん工法 ・ 拡張シーリング再充てん工法 ・ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [改3.7.2][改表3.7.1] ※ 下表以外は、改修共仕表3.7.1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類(記号) A.L.C版目地 ポリウレタン系(P.U-2) アルミサッシ廻り ポリウレタン系(P.U-2)		2 パテ状エポキシ樹脂	初期硬化性(標準) 接着強さ(標準) 圧縮強さ 曲げ強さ 硬化収縮率 2.0N/mm ² 以上 6.0N/mm ² 以上 5.0.0N/mm ² 以上 3.0.0N/mm ² 以上 3.0.(%)以下 a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 b. 対象とする被着体を浸さず、かつ、周囲を汚損しないこと。 c. 常温常湿(温度5℃~35℃、湿度15%~85%)において製造所の指定する期間又は製造後6か月間保存した後も、上記の品質・性能の各項目に適合していること。		2 ひび割れ部改修工法	※ 樹脂注入工法 [改4.1.4][改4.3.4] 注入工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(ml/m) 備 考 ※ 自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 ※ 樹脂注入工法 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ※ 40 ・ 注入工法 0.3以上~0.5未満 ※ 100~200 ※ 70 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 ※ 150~250 ※ 130 ・ 注入工法 ・ 注入材料 [改4.2.2] ※ 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形) 検査(コア抜き) ※ 行わない [改4.3.4] ・ 行う(抜き取り部の補修方法:)		5 浮き部改修工法	[改4.1.4][改4.4.10~15][改4.4.3~4] 改修工法の種類 7/10の寸数(本/m)の箇所数(箇所/m)充てん量 (モルタルを除去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量 ・ アンカーピンニング部分 ※ 16 ※ 25 エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ※ 25ml ・ アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ※ 50ml ・ 注入口付アンカーピンニング部分 ※ 9 ※ 16 ※ 16 ※ 25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25ml エポキシ樹脂注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ 注入口付アンカーピンニング全面 ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50ml ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・			
	⑧ 保証年数	7年防水 10年 ○ 合成高分子防水 10年 ○ 塗膜防水 10年 (X-1及びX-2) (請負業者は、防水施工業者及び材料メーカーと連名で年限保証する)		3 可とう性エポキシ樹脂	性能 常温物性 低温性 加熱劣化 引張接着性 引張強さ 1.0N/mm ² 以上 1.0N/mm ² 以上 1.0N/mm ² 以上 最大伸び1.0N/mm ² 以上 伸 び 30.0%以上 30.0%以上 30.0%以上 伸び伸び0.0%以上		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	1 施工数量調査	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	2 既存モルタル塗りの撤去	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
	9 とい	この材種 ※ 配管用鋼管・硬質塩化ビニル管(一般)・硬質塩化ビニル管(劣) 鋼管製といの防露 ※ 改修共仕表3.5.8による [改3.8.2][改表3.8.1] ※ 次の箇所は行わない() ロックウール又はグラスウール保温層のホルムアルデヒドの発散量 ※F☆☆☆☆ ・ F☆☆☆ 掃 除 口 ※ 有り ・ 無し 縦どい受け金物の取付け ※ 縦受け金物は、スチール製とする ・ 共仕13.6.3(b)(2)による [改3.8.3](共13.6.3)		4 タイル部分張替え用エポキシ樹脂	接着強さ 標準 低温硬化 アルカリ温水 冷熱水中繰返し 熱劣化 強さ(N/mm ²) 0.60以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 0.40以上 耐腐蝕性 7.5以上 5.0以上 5.0以上 5.0以上 5.0以上		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	2 既存モルタル塗りの撤去	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	2 既存モルタル塗りの撤去	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
	10 アルミニウム製笠木	[改3.9.2][改3.9.3][改表3.9.1] 種類 板厚(mm) 表面処理 固定間隔 備 考 ・ 250形 2.2以上 ※ A-1又は 固定方法及び 隅角部及び突き当たり部等の役物は ・ 300形 2.5以上 B-1種 間隔は品質計 本体製造所の仕様による。 ・ 350形 3.0以上 ・ B-2種 面で定めたも ・ 100形 () の		5 エポキシ樹脂モルタル	貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化がないこと。 JIS A 5548に準じた試験において、84℃で4週間、9.2Nおもりで安定していること。 a. 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。 b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと。 c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく「有害溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。 e. ずれ抵抗性があること。 f. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること。		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
	11 折板葺	[共13.3.2][共13.3.3][共表13.2.1] 形式 ※ 重ね形 ・ はげ絡み形 ・ かん合形 形状(mm) 山高() 山ピッチ() 板厚 0.6・0.8 材 料 ※ 塗後溶融5%アルミニウム亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(CZACC-R-20-Y25) (規格等) ・ 研先面戸板 ※ 有り ・ 無し 断 熱 材 ※ 有り(種別) 厚さ: 耐 火 性 能 ※ 30分耐火 ・ 無し		6 ポリマーセメントモルタル	接着強さ 圧縮強さ 曲げ強さ 1.0N/mm ² 以上 2.0.0N/mm ² 以上 1.0.0N/mm ² 以上 a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 c. 「労働安全衛生法」に基づく「有害溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。 d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと。 e. 常温・常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において製造後6か月保存しても上記の品質性能に適合していること。		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
				7 ポリマーセメントスラリー	広がり速度 長さ変化率 引張接着性 曲げ性能 吸水性 耐久性 (cm/s) (収縮) (材齢28日) (材齢28日) (7.2時間) (劣化曲げ強さ) 3以上 3%以上 0.5N/mm ² 以上 5.0N/mm ² 以上 15%以下 5.0N/mm ² 以上		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
				8 既製調合目地	保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.5~1.0		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
					項目 品質・性能 保水性 30%以上 長さ変化率 0.2%以下(収縮) 吸水量 50g以下		3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
							3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部
							3 欠損部改修工法	※ 充てん工法 [改4.1.4][改4.2.2][改4.3.7] 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		4-3 外壁改修工事	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部	3 ひび割れ部改修工法	調査範囲 ※ 既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 図示の範囲 [改1.5.2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。浮き部分を壁面に表示する。また、モルタルの欠損部分の形状寸法等を調査する。コンクリート面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。調査報告書の部数 ※ 2部



案内図



建設地：千葉県匝瑳市八日市場本715



配置図 S=1/400

特記事項・記事

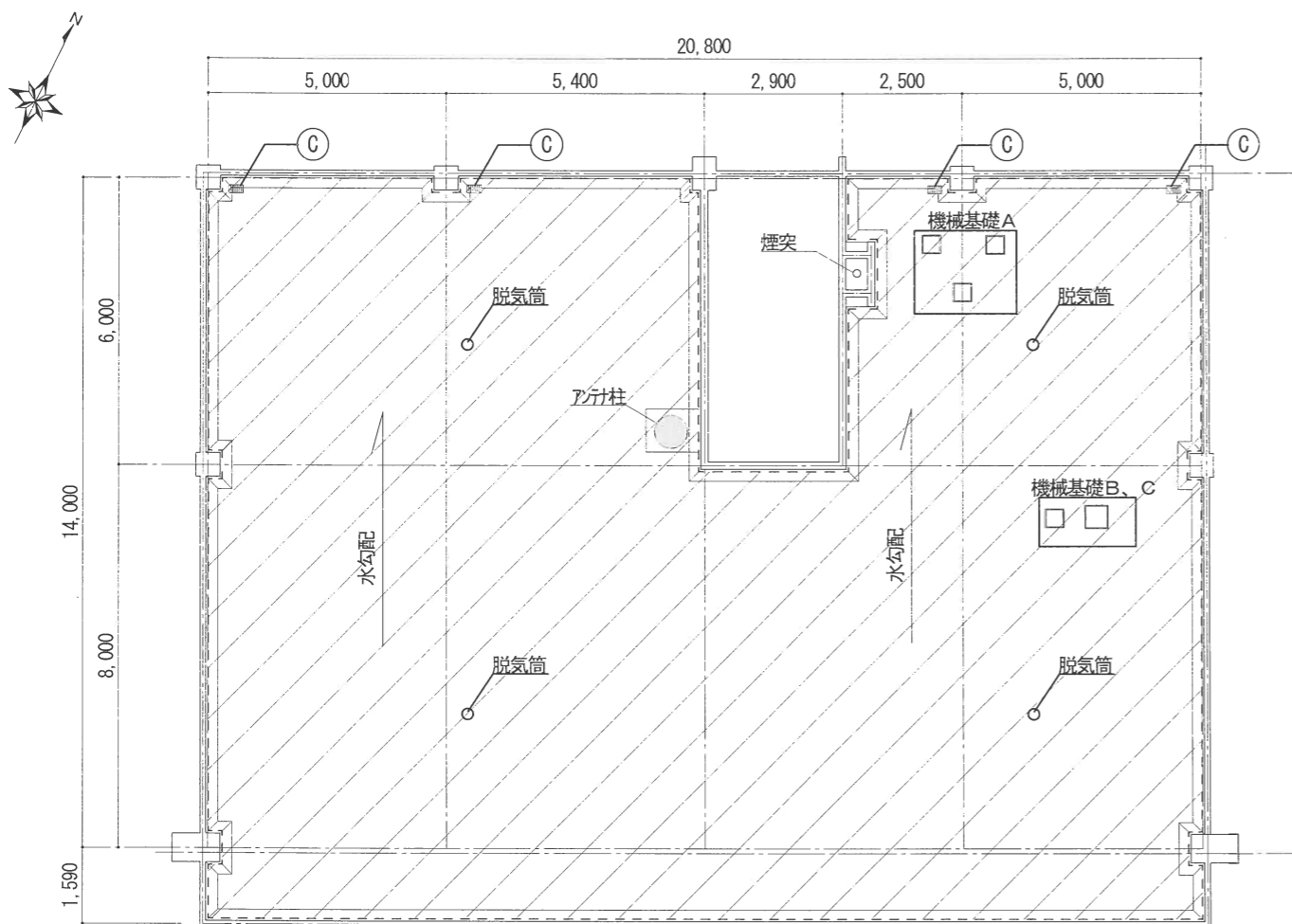
木村屋建築設計事務所

〒289-2144 千葉県匝瑳市八日市場イ2585番地
TEL 0479-73-7122 FAX 0479-73-7123
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1804-5907号
一級建築士 大臣登録 第307158号 江波戸 繁之

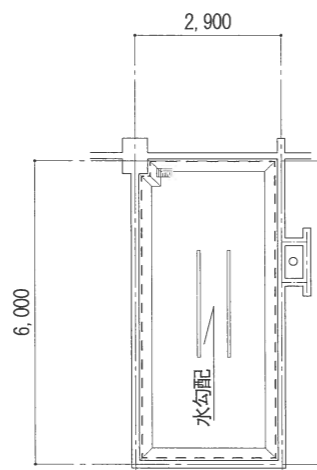
作成年月日・変更年月日
平成 30年 4月 17日
平成 30年 5月 10日
平成 30年 5月 14日
平成 年 月 日

工事名称
匝瑳消防署屋上防水改修工事
図面名称
案内図・配置図
縮尺
各記

設計 承認
図面番号
A-4

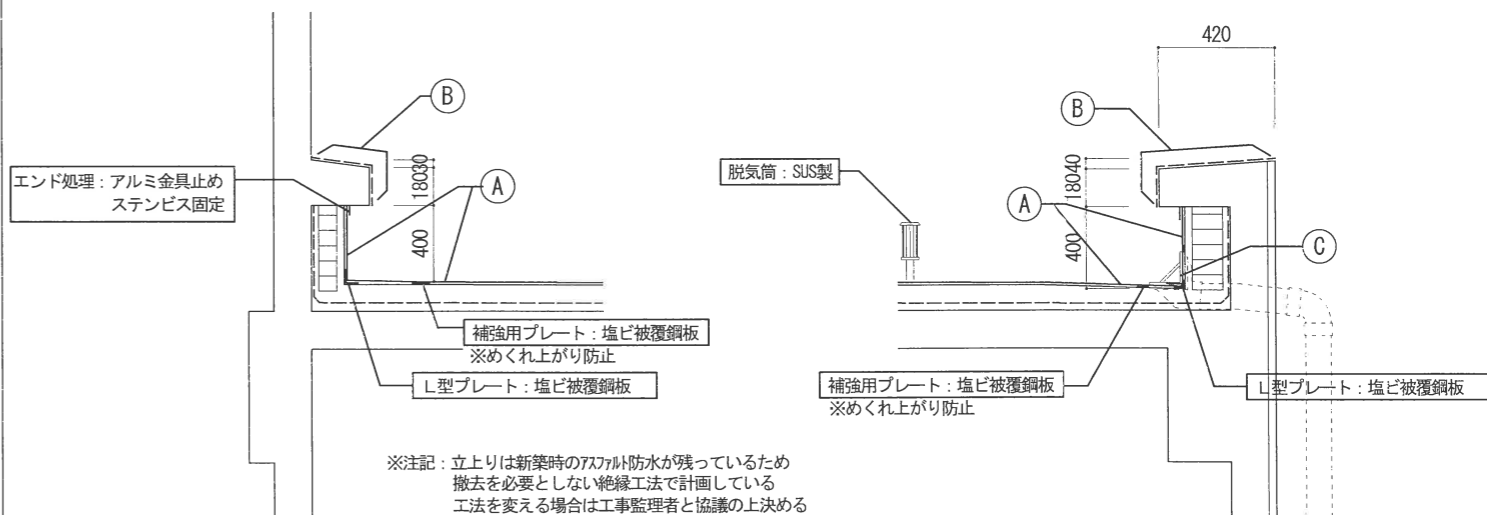


屋上平面図



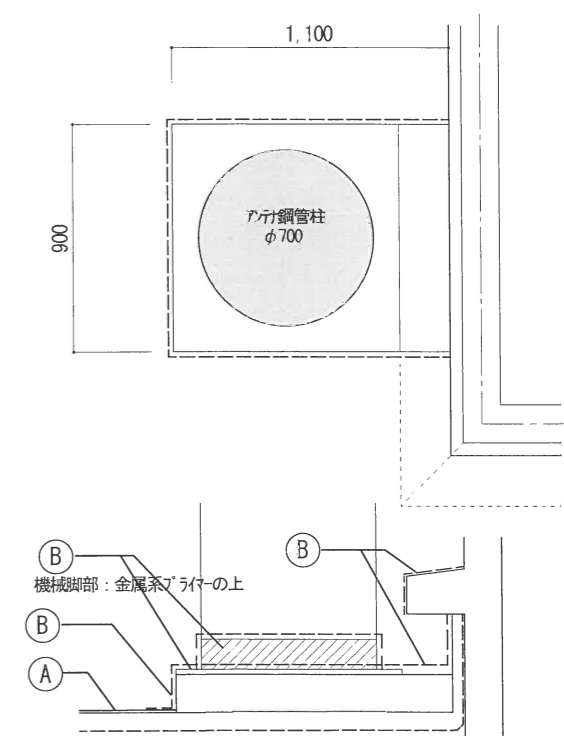
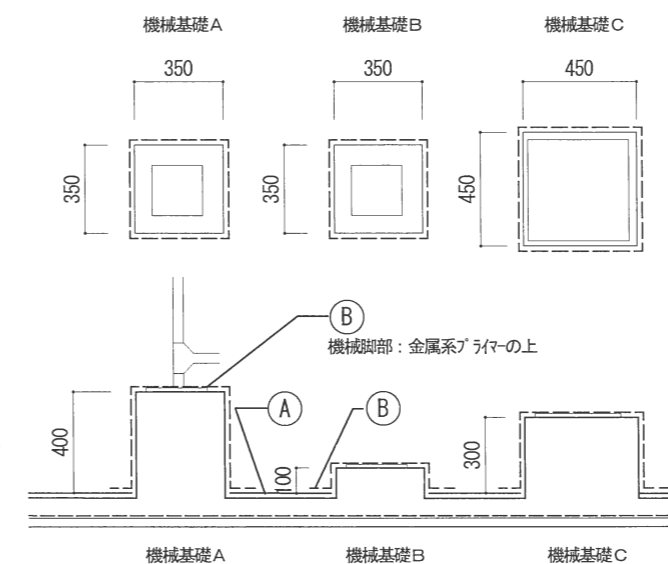
塔屋平面図

□凡例
改修範囲を示す



部分詳細図：機械基礎

部分詳細図：アンテナ基礎



項目	内容	項目	内容
Ⓐ	平場：S-M2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水機械的固定工法 t=1.5(10年保証) 脱気筒：SUS製 個数適宜(1台/70m程度)	Ⓒ	排水ドレン改修：上皿撤去、改修用ドレン(行、30型)取付け、ドレンキャップ付
Ⓑ	立上り：S-M2 塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水機械的固定工法 t=1.5(10年保証) X-2 ウルタン系塗膜防水(カレントップ10年保証) 下地：珪藻系 下地調整塗材 t=0.5mm		

木村屋建築設計事務所

〒289-2144 千葉県匝瑳市八日市場イ2585番地
TEL 0479-73-7122 FAX 0479-73-7123
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1804-5907号
一級建築士 大臣登録 第307158号 江波戸 繁之

作成年月日・変更年月日

平成 30年 4月 16日
平成 30年 5月 10日
平成 30年 5月 14日
平成 年 月 日

工事名称

匝瑳消防署屋上防水改修工事

図面名称

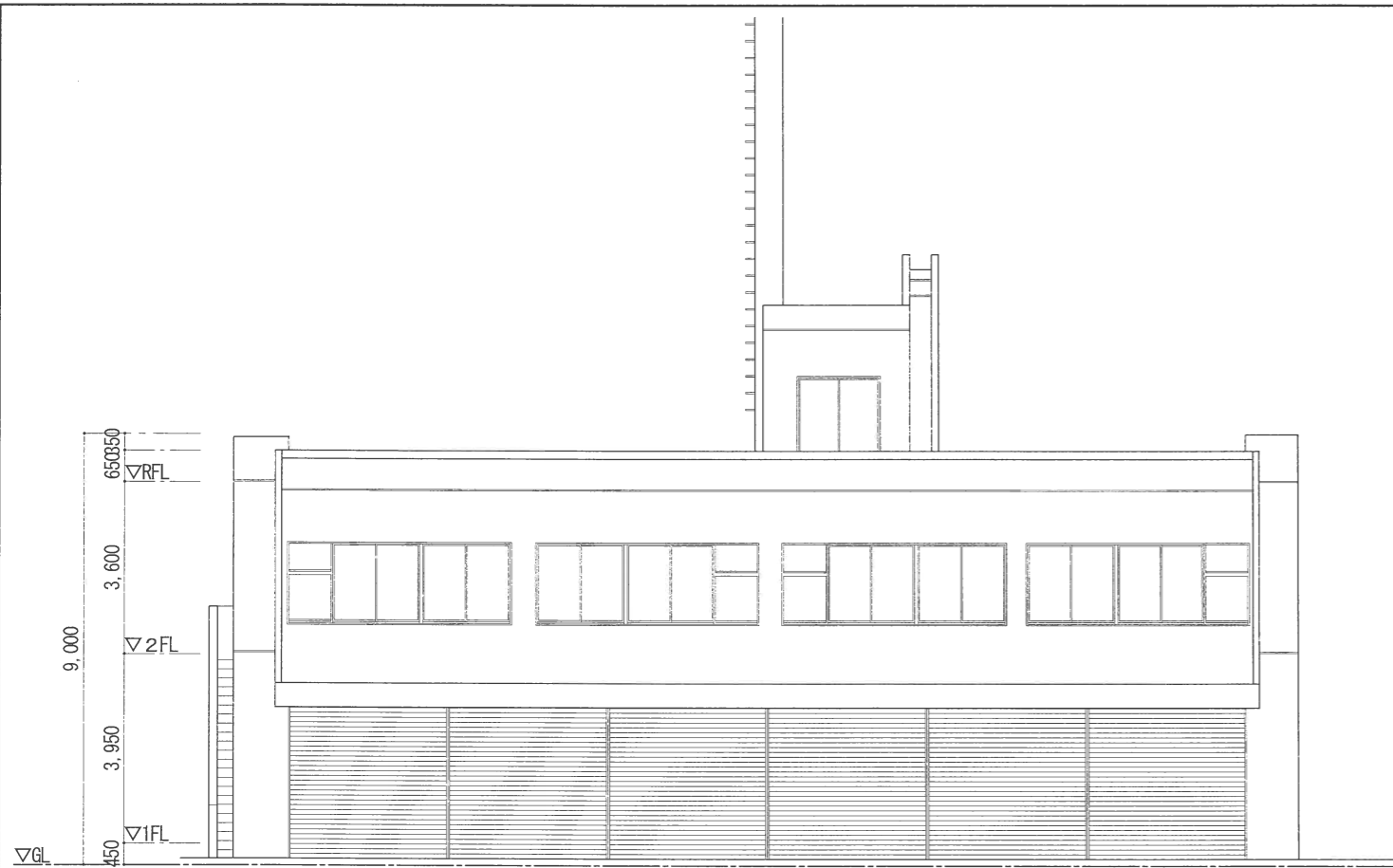
屋上平面図・部分詳細図

縮尺

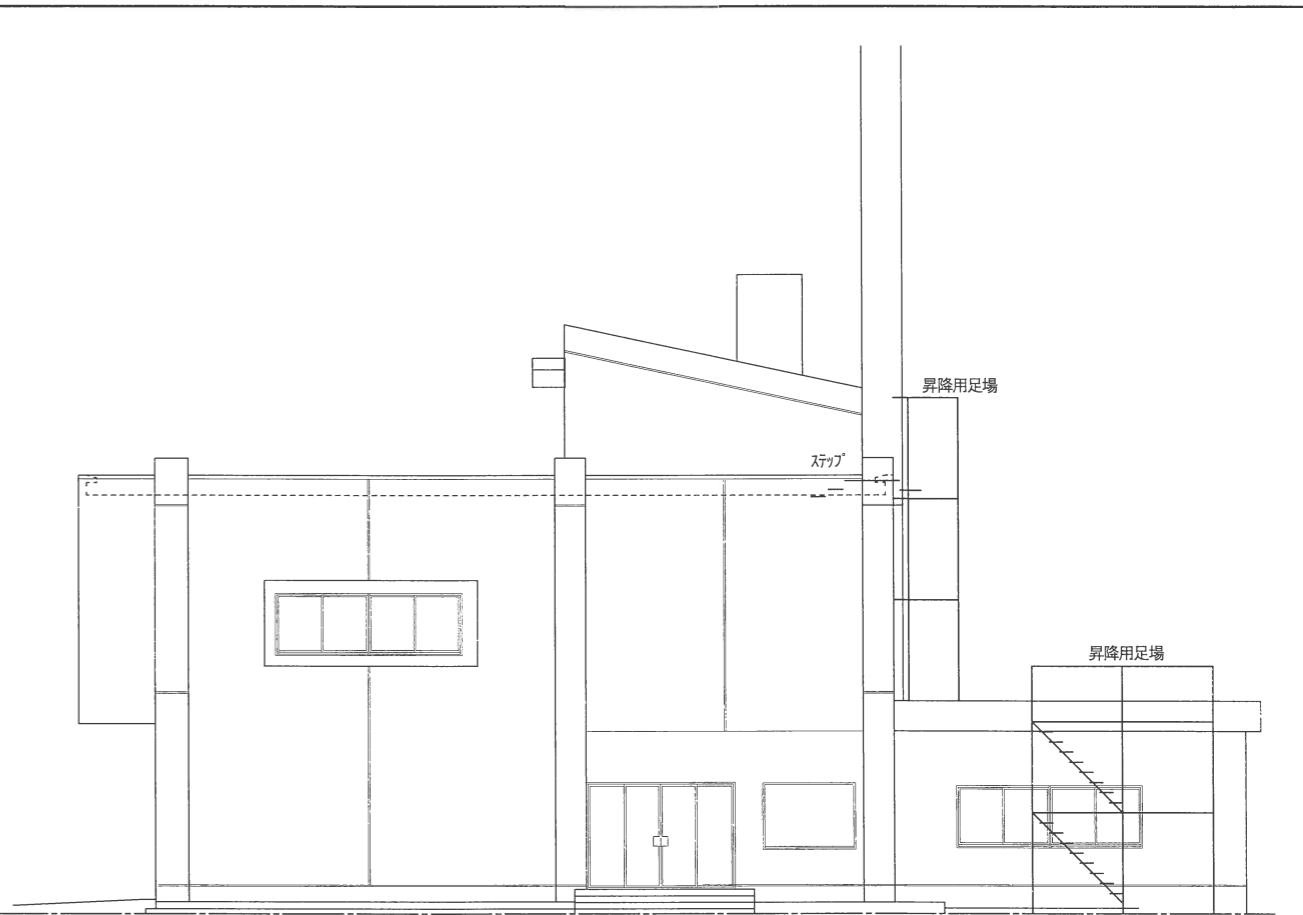
1/150

図面番号

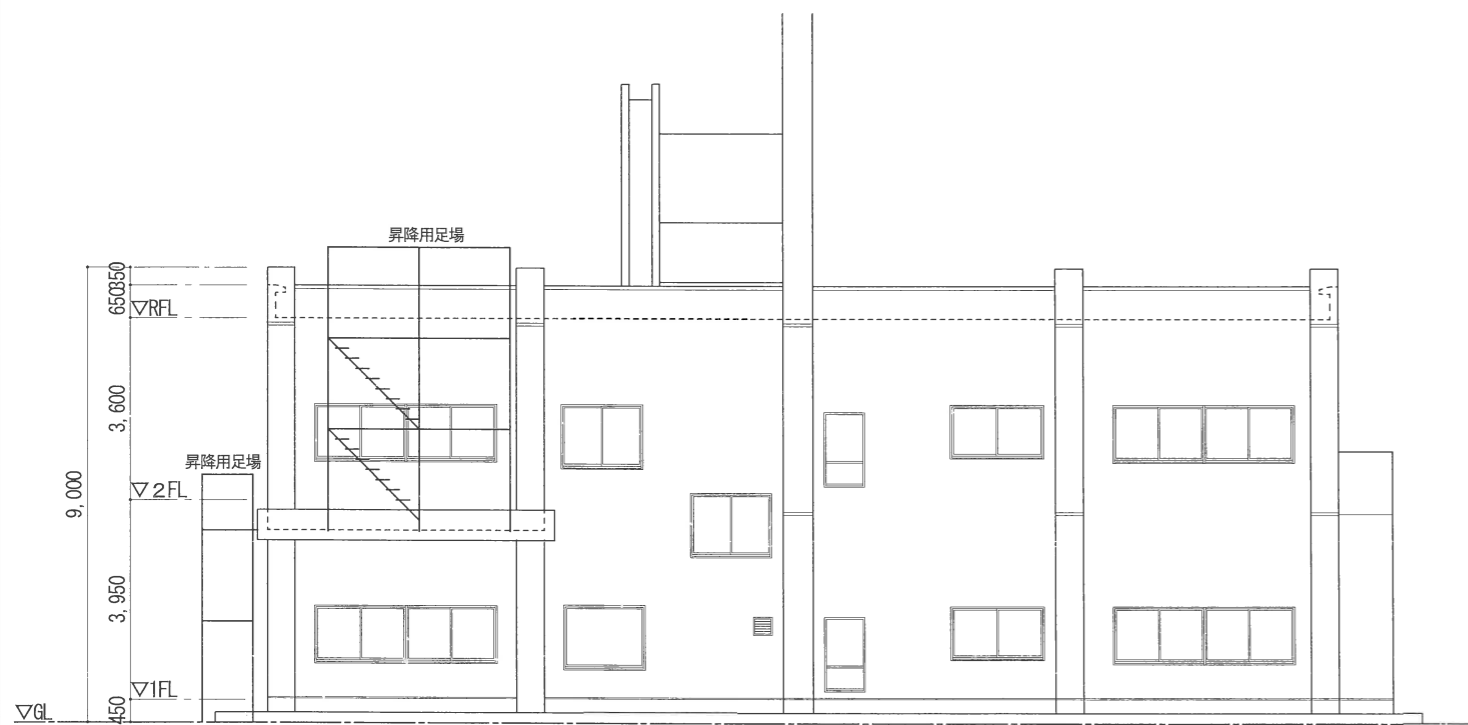
A-5



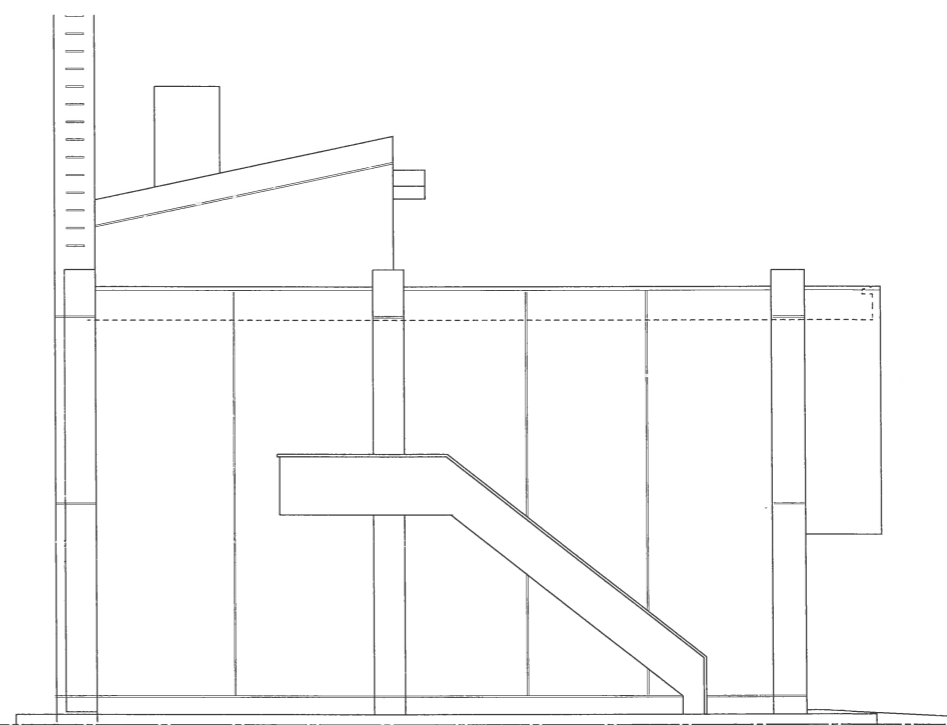
南側立面図



東側立面図



北側立面図



西側立面図

特記事項・記号

木村屋建築設計事務所

〒289-2144 千葉県匝瑳市八日市場イ2585番地
TEL 0479-73-7122 FAX 0479-73-7123
一級建築士事務所 千葉県知事登録 第1-1304-5907号
一級建築士 大臣登録 第307158号 江波戸 繁之

作成年月日・変更年月日

平成 30年 4月 16日
平成 30年 5月 10日
平成 30年 5月 14日
平成 年 月 日

工事名称

匝瑳消防署屋上防水改修工事

図面名称

立面図

縮尺
1/150

設計 承認

図面番号
A-6